

NPOに期待すること、NPOの役割

NPOをめぐる諸概念の構成

1 NPOとは・・・?

(1) 基本的な押さえ⇒図

☆nonprofit organization=民間

非営利組織・団体

☆「非営利」とは、儲かった

利益を関係者で分配しないこと。

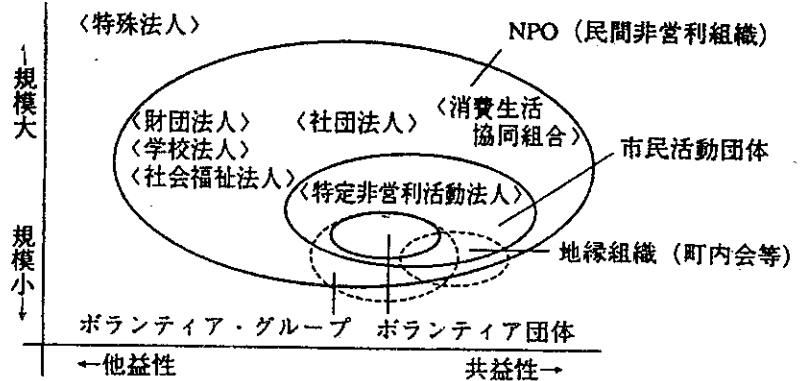
☆儲からないのに、なぜするのか?

・・・「Mission=社会的使命」

のためにする。

☆NPO=社会的使命を営利よりも

優先させて活動する民間の非営利組織・団体



(2) 定義

アメリカのジョーンズ・ポプキンス大学 レスター・サイモン教授

- | | | |
|-----------|--------------|------------|
| ① 公的な組織 | ② 政府から独立した組織 | ③ 非営利の組織 |
| ④ 自主管理の組織 | ⑤ 自発的な組織 | この条件を満たす組織 |

(3) 活動分野・・・17分野

(4) NPOの実態

介護関係の事業をしているところ以外、原則、脆弱な団体多い。

★ 2006年度愛知県下のNPO法人収入規模・・・百万円未満35%、百万円～5百万円未満24%、約6割。1千万円～5千万円未満23%。百万円程度で停滞する団体と、1千万円を超えて徐々に伸びていく団体とに2極化する構造になっている。

★ 1千万円程度の収入規模で、専従職員1名か2名確保可能。活動を活発にするためには専従職員必須。

★ 継続したNPO活動には、資金不可欠。

2 まちを元気にするために、その課題・・・?

(1) NPOの役割

★ 元気なNPOは自ら開拓・・・例：

更に他のNPO、地域と連携して活動すること。

★ 各分野のNPOを支援するNPOも必要（中間支援組織の機能を備えたNPOの存在）

★ 中間支援組織としてのNPOと分野NPOが協働して活動を行うこと。

(2) 行政の協働の姿勢

★ 行政は、既に財政上、市民ニーズの多様化に対応できない。

★ せめてできることは、NPOの活動を支援する（情報、資金、アドバイス、人材研修）

★ 行政で全部抱え込まない⇒事業補助、事業委託、施設の運営管理委託（公共サービスへの参入機会の提供）

★ 行政職員も率先して地域活動に参画する姿勢が大切（職員のNPO活動への理解促進。）

(3) 企業、商店街、コミュニティ組織との協働、協力

★ まず、それぞれの組織体がやる気になること。

★ 各組織体が単独で行うのではなく、連携、協働して行う、壁を作らない。NPOの活用

★ 協働・ネットワークづくりのきっかけを行政が、指導ないし提供すること。